

令和4年度教育委員会事務局予算編成方針

1 令和4年度予算編成にあたっての考え方

令和4年度の目標として、「社会に開かれた教育課程の実現～彦根らしい学びの追求～」を掲げている。これは、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、連携・協働しながら、子どもたちに新しい時代に必要となる資質・能力を育むという考え方である。

教育委員会・学校と家庭・地域等が、子どもたちに未来を生きぬく力を育み、彦根の将来を担う人を育てるという共通の目標に向かって、つながりを深め、互いに当事者意識を持って取組を進めていかなければならない。「社会に開かれた教育課程の実現～彦根らしい学びの追求～」の実現に向けて、次の6点を重点として取り組む。

2 令和4年度重点取組

(1) ウィズコロナを踏まえた教育行政の推進

- ・感染症対策の徹底と教育活動の継続
- ・感染拡大時のICT活用等による学びの機会の確保
- ・コロナにかかる差別・いじめ・誹謗中傷の防止

(2) いじめを許さない安全で安心な学校づくり

- ・子どもの健康、命、人権にかかわる諸課題へのきめ細やかな対応
- ・障害のある児童生徒、外国人児童生徒の教育的ニーズへの適切な対応

(3) 「非認知能力」を含めた「生きる力」としての総合的な学力の向上

- ・子ども主体の授業への転換
- ・本市の歴史、文化、偉人等をテーマとする課題解決・探究型学習の推進

(4) 社会教育の充実と家庭・地域の教育力の向上

- ・訪問型家庭教育支援の充実
- ・学校運営協議会の拡充
- ・子どもたちの読書意欲の向上
- ・社会教育施設における学習機会の充実、歴史や文化に触れる機会の創出

(5) 充実して働き続ける教職員の働き方改革

- ・ICTの活用等による授業準備や校務の効率化
- ・スクール・サポート・スタッフの効果的な活用
- ・小学校教科担任制導入に向けた研究
- ・中学校部活動の円滑な運営

(6) GIGA スクール構想の推進

- ・ICTを活用した教育のあり方の研究推進
- ・ICT活用による不登校、外国人、障害のある児童生徒のニーズに応じた学びの提供